

最新NEWS

🏆 JFA 第44回全日本U-12サッカー選手権大会 香川県大会 🏆 を振り返って
2020年11月1日(日)～22日(日)【香川県総合運動公園・他3会場】で開催

【大会結果】

優勝	丸亀FC	準優勝	FCディアモJr
3位	香東川SC	4位	柞田SSS
努力賞	太田SSS	敢闘賞	さぬき南FC



大会の様子

【大会概要】

～レフェリングを振り返って～

去る10月11日(日)に、第4種委員会による審判講習会を開催し、日頃の疑問、競技規則の改正・変更について、又副審の動き・体の使い方などをアドバイスさせていただきました。本大会を通じて講習会で伝達された事を意識しながら実践されたと思いますが、いかがでしたでしょうか？本大会のタイトルフレーズでもある『ピッチこそ僕らのホームだ』と同様、一生懸命プレーする選手、アドバイスを送る指導者、縁の下の力持ちとして選手やチームを支え観戦されている保護者やチーム関係者に、ゲームをスムーズに、且一つ一つのシグナルや判定を明確に下す事が出来たでしょうか？改めて考えさせられた事は、試合前の**“審判員同士のコミュニケーション”**の重要性でした。

ペナルティーエリア内での反則や得点場面でのオフサイドの有無、アディショナルの表示等、全体を通して主審のより良い位置取りの修正や、アイコンタクトによる副審や4thとのシグナルを確認し合う事でした。又グリーンカードを示す場面、機会がまだまだ少なかったと感じています。選手たちはサッカーを通じ「全力を尽くす事」「助け合う事」「フェアに戦い、仲間を大切にすること」「サッカーを楽しむ環境を与えてくれる人々に感謝すること」を日々、努力し学んでいます。ポジティブな行動を感じたらグリーンカードをどんどん選手達に見せていきましょう！選手たちの小さな勇気、潔さ、そして一人一人の努力の結晶を光り輝やかせてあげられるのは審判員の行動だと思います。

～メディカル・怪我に対する知識について～

サッカーでは、“ぶつかる・転ぶ”といった場面が数多く見られます。今大会の決勝戦においても選手間で頭が強く接触した場面がありました。このような場面で主審はどの様に対処すればよいでしょうか？まず大切なのは自身が慌てず負傷者の症状を把握することです。状況により、指導者の入場を認めるのか、担架要請なのかを判断しなければなりません。ピッチ内においては、いつ・何処で・何が起こるか分かりません!!常に起こった事象を把握できるようにする為には、やはりプレーする選手の近くで見とることが大切です。近づきすぎてもプレーの邪魔になる場合があるので、程よい主審のポジション確保が重要になります。又、怪我の場合の対処については大会要項に記載されている場合がありますので要項についてもしっかり目を通しておいてください。サッカーは動きの激しいスポーツです。このような事象が起きても、慌てず焦らず対処(再開場所、再開方法も重要)できる、より良い審判員を目指してください。

※第4種 審判委員長コメント

コロナ感染対策の中、会場変更も余儀なくされた香川県大会が無事終了されました事、各チームの審判担当の皆様をはじめ、ユース及びアカデミー出身の若き審判員の方々に厚く御礼を申し上げます。一試合一試合に全力を尽くす選手達の姿をみて思わず感動を覚えました。そんな全力を尽くす選手たちのすぐ傍にはプレーをジャッジする審判員が必ずいます。それぞれの試合を担当する審判員が「知識や走り、ジャッジ」について大会前にこれらの事を振り返って考えられたでしょうか。大会を通じて一部の試合においては本当にこの試合でジャッジするのに相応しい審判員なのかどうか？と疑問に思ってしまう“発言や場面”が見受けられました。勿論、このような事象については偏に私達審判委員会の知識や技術の伝達不足があり真摯にこれを受け止めなければなりません。と同時に、参加チームにおける代表者並びに該当学年担当者が、チーム割当について再度見つめ直して欲しいと心から願っております。少し辛口になってしまいましたが、当大会にご協力いただきました方々には感謝を申し上げますと共に、今後とも当委員会へのご理解とご協力を受け賜りますよう宜しくお願い致します。

🏆	📅	🏆	📅	第4種 審判委員会 今後の活動予定	📅	🏆	📅	🏆
大会名				日程	会場			
第9回	香川県U-9新春サッカー大会	予選リーグ	1月30日(土)、31日(日)	成合河川敷グラウンド A.B.C				
	〃	決勝TM	2月13日(土)、14日(日)	東部運動公園 第1,2サッカー場				
第11回	香川県ジュニアチャンピオンシップ	U-12の部	2月6日(土)、7日(日)	東部運動公園 第1サッカー場				
	〃	U-11の部	2月13日(土)、14日(日)	東部運動公園 第1サッカー場				

大会期間中、“リスペクトワッペン”(右部画像)の付いたウェアを着た 第4種 審判委員 を見掛けたら、気軽に声掛けしてください!!

また大会期間中に限らず、“グリーンカード”もどんどん活用(提示)してください!!

